



福島県以外の地域においては、降雨があった2011（平成23）年3月21日及び3月22日を中心とした数日間以降に降下量が上昇し、その後3日程度に水道水中の放射性ヨウ素の濃度が最も高くなりました。一方、その後の降雨時（3月30日、4月9日、4月11日など）には、降下量や水道水中の放射性物質の濃度について顕著な上昇は見られませんでした。放射性セシウムについては、2011年3月においても福島県以外の地域で検出された量はごく微量でした。

本資料への収録日：2013年3月31日

本情報は事故当時（2011年）の情報です。

関連Q&A

- ・3章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・3章 QA12 雨水や日常食のストロンチウム90やセシウム137はどのようにすれば測れるのですか
- ・3章 QA16 食品、上水中の放射性物質はなぜセシウム134、セシウム137やヨウ素131の濃度しか発表されないのですか
- ・3章 QA24 雨の日は空間線量率が高いのですが、今でも放射性物質が降ってきているのでしょうか